

## 震災に伴う県内の経済的被害状況

### 1. 資本ストックの毀損額

宮城県内は、東日本大震災（以下、震災といいます。）により沿岸部を中心に多くの住宅等が被害を受けたほか、道路や港湾などインフラ関連なども甚大な被害を被りました。内閣府では、今回の震災による被災地域7道県（注）の資本ストック（社会資本・住宅・民間企業設備等）の毀損額を16～25兆円と推計しています。この推計値をベースに、津波による浸水面積などを勘案して宮城県の毀損額を試算しますと、約9～14兆円となります。宮城県の資本ストックの総額は、約37兆円と見込まれるので、県内の資本ストックの約3割が失われた計算となり、被災地全域の中でもその被害額の大きさが突出していることがうかがわれます。

図表1. 資本ストック毀損額（総額）の推計値

	資本ストック毀損額	資本ストック総額
被災地全域（7道県） <内閣府推計値>	16兆円～25兆円	175兆円
宮 城 県 <当部推計値>	9兆円～14兆円	37兆円

（注）7道県・・・北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県  
資料：内閣府「震災対応特別会合資料」

### 2. 主な産業の被害状況

#### （1）農 業

県内農業は、津波に伴う耕地の被害（浸水）面積が全体の約1割になるなど、大きな被害を受けています。

耕地の被害面積率から耕種農業の被害額（生産減少額）を推計すると、県全体では156億円に達するものと推計されます。これを市町村別にみると、亘理町が38億円と最も大きく、次いで山元町（22億円）、仙台市（21億円）、名取市（19億円）などとなっており、コメのみならずイチゴ等の野菜被害が大きい仙南地域の被害が甚大なものとなっています。

図表2. 農業生産被害推計額 (ha、%、億円)

	耕 地 面 積	被害（浸水）面積		耕 種 農 業 産 出 額	被害推計額 （生産減少額）
		被害面積	被害面積率		
宮 城 県	136,300	15,002	11.0	1,180	156
亘 理 町	3,450	2,711	78.6	59	38
山 元 町	2,050	1,595	77.8	29	22
仙 台 市	6,580	2,681	40.7	68	21
名 取 市	2,990	1,561	52.2	43	19
石 巻 市	10,200	2,107	20.7	104	18
東 松 島 市	3,060	1,495	48.9	36	16
岩 沼 市	1,870	1,206	64.5	21	12
気 仙 沼 市	2,220	1,032	46.5	13	6
七ヶ浜町	183	171	93.4	2	1
南三陸町	1,210	262	21.7	6	1
松 島 町	1,030	91	8.8	8	1
多賀城市	365	53	14.5	5	0.4
塩釜市	73	27	37.0	0.5	0.2
女川町	25	10	40.0	0.1	0.0

注）耕種農業とはコメ、野菜等を生産する農業。表中の産出額は平成21年の数値。

資料：東北農政局「宮城農林水産統計」

(参考) 岩手県・福島県の農業生産被害推計額

(ha、%、億円)

	耕地面積	被害(浸水)面積		耕種農業 産出額	被害推計額 (生産減少額)
			被害面積率		
岩手県	153,900	1,838	1.2	1,124	13
福島県	149,900	5,923	4.0	1,931	58

注) 被害推計額には原発事故に伴う風評被害等は含まない。

なお、岩手県と福島県の農業生産被害額については、岩手県が13億円(被害面積率1.2%)、福島県が58億円(同4.0%)となっており、被災地3県を合わせた合計は約227億円となっています。

(2) 漁業

県内漁業は、津波被害により漁船の大半が流出・損壊したほか、漁港や養殖施設も大破するなど、壊滅的な被害を受けています。特に、漁船については、全体の9割にあたる約1万2千隻が大破するなど甚大な被害となっています。

県内の漁業生産額は海面漁業が598億円(平成20年)、養殖業が231億円の計829億円となっていますが、本格的な操業再開までには相当の期間を要すると見込まれることから、生産面における被害額もかなりの規模になるものと考えられます。また、全国のシェアをみると、宮城県は5.4%、岩手県は2.9%、福島県は1.3%となっており被災3県のシェア(9.7%)は1割弱に達しています。

なお、魚種別生産額の全国シェアをみると、わかめ類が岩手県を中心に8割を超えているほか、かき類(種苗)が宮城県を中心に8割弱、さめ類が7割弱となるなど総じて高いシェアとなっています。こうしたことから、震災の被害は全国的な漁業の生産動向や消費動向にも多大な影響を及ぼすものと考えられます。

図表3. 被災3県の漁業生産額の概要(平成20年)

(億円、%)

	漁業生産額			全国シェア		
	合計	海面漁業	養殖業	合計	海面漁業	養殖業
宮城県	829	598	231	5.4	5.3	5.5
岩手県	453	314	139	2.9	2.8	3.3
福島県	208	204	4	1.3	1.8	0.1
合計	1,489	1,115	374	9.7	9.9	9.0

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

(参考) 被災3県の主な魚種別生産額の全国シェア

(%)

	宮城県	岩手県	福島県	合計
わかめ類	23.6	57.4	0.0	81.0
かき類(種苗)	76.8	0.5	0.0	77.3
さめ類	57.3	10.0	1.3	68.6
かじき類	28.2	3.1	2.3	33.6
あわび類	9.5	19.2	1.4	30.1
かき類	17.3	10.0	0.0	27.2
さんま	10.8	7.6	7.4	25.8
こんぶ類	1.6	22.2	0.0	23.9

### (3) 水産食料品製造業

県内水産食料品製造業は、津波により加工工場や設備、在庫が流出・損壊したことに加え、原材料の調達・流通にかかる漁業や、漁港、魚市場等の水揚施設、冷凍倉庫などが壊滅状態にあることから、その被害は甚大なものとなっています。

県内水産食料品の製造品出荷額等は2,837億円(平成20年)となっていますが、生産設備や関連する産業、施設の復旧には相当の期間を要すると見込まれることから、出荷額等の大幅な減少は避けられない状況となっています。

なお、被災3県の水産食料品製造品出荷額等の全国シェアは1割強となっているほか、主な水産食料品別の全国シェアでも水産缶詰・瓶詰が約2割、冷凍水産食品が16.7%、水産練製品が13.4%となるなど高いシェアを占めていることから、全国的な水産食料品の生産動向にも多大な影響を及ぼすものと考えられます。

図表4. 水産食料品の製造品出荷額等（平成20年）（億円、%）

	製造品出荷額等	全国シェア
宮城県	2,837	8.3
岩手県	784	2.3
福島県	425	1.3
合計	4,046	11.9

資料：経済産業省「工業統計調査」

(参考) 被災3県の主な水産食料品別製造品出荷額等の全国シェア (%)

	宮城県	岩手県	福島県	合計
水産缶詰・瓶詰	8.4	11.5	0.0	19.9
冷凍水産食品	12.4	4.0	0.3	16.7
水産練製品	9.8	0.0	3.6	13.4
冷凍水産物	8.8	2.8	1.0	12.6